

森清人 もりきよひと 日本精神・詔勅研究家。明治二十七年四月佐賀縣生乳、
 昭和二十八年十一月六日没（一九五〇—一九六二）。早稻田大學卒。菊池武夫、
 高須芳次郎等と日本精神協會を組織し、日本思想研究会にも關與。詔
 勅講究所所長。

著書に『科學的の本主義とは何ぞや』（昭和七年二月）白雲社、
 『生命辯證法—新日本改造の指導原理』（昭和八年七月）平凡社、
 『皇軍必勝篇』（昭和十二年一月）日本精神協會「詔勅講義」（）、
 『皇國王道論』（詔勅より觀たる「武」及び「臣道」の本質）（昭和
 十四年六月十九日第一出版社）、『詔勅より觀たる神武天皇』（昭和十五年
 五月十一日素心會）、『日本臣道論』（昭和十六年五月）白富士書
 店）、『長崎文化物語』（合著・長崎文化協會、福田清人編、昭和十
 六年十一月）白八弘書店）、『教育勅諭講義』（昭和十八年一月）
白八弘
 十五白直響出版社）、『日本紀年新考』（昭和二十二年四月十五日慶
 文堂書店）、『日本新史』（昭和二十七年五月）千八百錦止社）等。

